

# 北部普及だより

## 能勢町で耐暑性トマト品種導入試験を行いました

能勢町では夏秋トマトを経営の中心品目とする新規就農者が多いですが、近年夏の気温が高く、着果が悪くなったり、裂果をはじめとした異常果が高い割合で発生することで収量が減少していました。

そこで昨年発売の耐暑性品種（品種名「桃太郎ワンダー」）をメーカー（タキイ種苗）の協力を得て、6名、1法人の若手農業者のほ場で試作しました。能勢町には6～8月出荷の夏秋ハウス雨よけ作型と天王地区を中心とした8～10月出荷のハウス抑制作型があり、その両方で展示実証を行いました。

6月に、メーカーを呼んで品種特性に応じた管理方法の説明を受け、施肥量、施用時期のコツ等をほ場で確認し、導入試験を開始しました。8月31日に抑制作型で栽培している倉垣地区で現地ほ場検討会を開催し、トマト生産者9名が参加しました。

夏秋ハウス雨よけ作型の試験農家からは「肥大が良く、収量が多い。」「B品が少ない。」「節間が短く、管理しやすい。」と良い評価があったものの、抑制作型の農家からは「裂果が多かった」との声が寄せられました。

しかし、抑制作型で栽培するベテラン生産



▲桃太郎ワンダー現地検討会(8月31日)

者からは、既存品種と裂果率に差がないとの意見もあり、管理で裂果を減らすことは可能と思われます。

また、展示実証ほの既存品種「桃太郎グラウンデ」と「桃太郎ワンダー」の食味アンケートの結果、食味は同程度であることから、肥大が良く収量が多い桃太郎ワンダーが来年度から一部農家で導入されます。

試験農家の中には、7月の西日本豪雨によって栽培を中止したところもあり、農の普及課では農業生産意欲が失われないよう、今後の営農計画相談や技術支援、助言を行っていきます。

### 融資制度に関するお知らせ

大阪府では、台風21号で被災された農業者を対象に、「大阪版被災農業者無利子融資事業」を実施しています。また、災害により被災された農業者の方が現在返済中の借入金について、JAや日本政策金融公庫では返済猶予や期間の延長等に関する相談窓口を設置しています。詳細は大阪府HPをご覧ください。

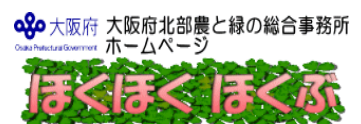
[大阪府 農林漁業者向け融資制度](#) で検索して下さい。



農林漁業者向け  
融資制度二次元コード

大阪府北部農と緑の総合事務所ホームページ「ほくほくほくぶ」開設中!

<http://www.pref.osaka.lg.jp/hokubunm/youkoso/index.html>  
プロ農家等に技術情報をお届けする「おおさかアグリメール」配信中!  
<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/agrimail/>  
いいもん!うまいもん!大阪産(もん!)の情報発信中!  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/nosei/osakamon/>



## がんばる商談会参加者

### 能勢から特産の“栗”加工品 ～能勢びより～



▲北部の商談会出展の様子



▲グルテンフリーの「能勢栗パスタ」

能勢町にある株式会社能勢びよりは、能勢町の特産物の米と栗にこだわった加工品を作っています。

そのきっかけを代表の相川さんにお聞きしました。「能勢に引越して、栗農家から『江戸時代の飢饉の際に栗（品種：銀寄）を売って銀札（お金）を集めて村の人たちが救われた。』ということを知り、能勢の栗を広くPRし、全国の方に食べて頂きたいとの思いで栗の加工品づくりを始めました。」

平成26年には、能勢栗パウダーの製造販売を行い、平成29年には大阪産（もん）チャレンジ支援事業を活用し、グルテンフリーの能勢栗パスタを開発しました。能勢栗パスタは能勢栗と能勢のお米を使って作られた乾麺パスタで、食感はモチモチ、ツルっといくらでも食べられます。

今では、栗パウダー入りパンケーキミックスや栗マロンクリームなど9品目の加工品を作っており、能勢町物産センターをはじめ近隣の百貨店でも販売されています。今後も、一層のご活躍を期待しています。

詳しくは:「能勢びより」で検索

## 技術情報

### バンカーシート®を利用したいちごのハダニ類防除

いちご栽培においてハダニ類は重要害虫であり、薬剤による防除の他、天敵資材の使用等でハダニ類対策を行っています。しかし、天敵資材は、対象害虫の発生前あるいは初期に放飼する必要がありますが、タイミングの把握や天敵の定着が難しく、普及のネックとなっていました。

「バンカーシート®」はハダニ類の代表的な天敵であるスワルスキーカブリダニ、ミヤコカブリダニを増やし、放出できる簡易型組立資材です。温度や乾燥などの環境変化や散水、農薬散布などの影響から天敵を保護し増殖させ、長期間放出することができ、待ち伏せ防除や繰り返し放飼の負担を軽減できます。

平成28年から2年間、高槻市のいちご栽培農家とともに、設置のタイミングを検証したところ、10月中旬に設置した区（10aにバンカーシート®100個設置）ではハダニ類被害を抑えることができました。試験を実施した農家からは「コストはかかるが、年内の薬剤防除回数抑えることができ、春先に効果が高い薬剤を残すことができる」と評価いただいています。



▲バンカーシート設置の様子

## お知らせ

### 表彰おめでとうございます

能勢町農産加工連絡協議会が、平成30年度近畿農政局男女共同参画優良事例表彰で、近畿農政局長賞を受賞されました。